



## “Science and Art of Perfume” 実験実習会 9/21(土)開催

### 〈生徒感想1〉

このプログラムのおおまかな内容は、企業の方の講義を聴き、数種類の香りの元を自分の好きなように混ぜて自分だけのオリジナルの香りを作ろうというものでした。また班での会話、意見交換、講義、内容の説明はすべて英語と決められていました。

はじめ、プログラムのほぼ全てが英語ということで不安がありました。が終えてみて、大抵の話は簡単でゆっくりだったので内容を理解することができました。

香り作りは簡単でしたが、自分の好きなように作ることは楽しく、また香りの元の分子によって香りの強さなどが違うというのは初めて知ったのでとても興味深かったです。

以上のようにプログラムに参加したことで私は科学、英語の両方に一層興味を持つことができたのでよかったです。

### 〈生徒感想2〉

僕は今回の体験で英語の大切さを改めて感じた。P&Gのスタッフの皆さんに香りについての知識を教えて頂くとき、ほとんどが英語だったので、少し理解するのが難しかった。もっと英語を聞き取る能力があれば、香りについての理解がもっと深まっていたと思う。しかし、スタッフの皆さんのご指導のおかげで自分だけの良い香りを作ることができた。

また他校の生徒に英語で自分の意見を主張するときも、なかなかうまく自分の意見が言えず、もっと英語で会話する力があればスムーズに意見交換ができたのではないかと思います。

この経験を通して他校の生徒達と話すことができ、良い刺激になったし、化学についてもよく理解を深めることができたと思う。この経験を生かしていきたい。



## 付着海岸生物調査と遺伝子解析実験

9月14日に総合自然科学コースの生徒3名が、県立尼崎小田高校で行われた兵庫咲いテックプログラムの一つである「付着海岸生物調査と遺伝子解析実験」に参加しました。参加するにあたって西播磨地区の海岸3か所でフジツボやカメノテを採取し、海水温やCODなどの水質の調査を行いました。

当日は調査で明らかになったことをポスター発表し、たくさんの先生方から質問やご指摘をいただきました。また、採取したカメノテからDNAの抽出をし、さらにPCR法、電気泳動などバイオテクノロジーの有名な実験を実際に体験することができました。兵庫県内のカメノテが遺伝的に近縁種なのかが今回の解析で明らかになるということです。

## 北但層群化石採集

10月5日、総合自然科学コースの生徒6名が養父市関宮八木谷において、化石採掘を行いました。生徒たちは、様々な貝の化石を探すため、大ハンマーやタガネなどを片手に、汗を流しながら最後まで大きな岩を割り続けました。その結果、二枚貝や牡蠣など、いくつもの化石を得ることができました。

今後は化石の採掘と並行しながら、地質調査も行う予定です。

